



6月 町屋幼稚園だより

令和4年5月31日

荒川区立町屋幼稚園

園長 高田 大

「食べてみよう」と思う気持ち

園長 高田 大

幼児期は成長の過程として食べ物の好き嫌いが生じやすい時期です。幼児期の味覚は大人の数倍敏感だと言われており、これは危険な食物から身を守る本能がより強く残っているからだという説があります。そう考えると酸味（腐敗のサイン）や苦み（毒性のサイン）を苦手とする子どもが多いのも納得できるように思います。そのためバランスの良い食生活を目指すには子どもたちへの働きかけにも工夫が必要です。

町屋幼稚園では園で育てた野菜を子どもたちと収穫し、実際に調理されたものを食べてみる取組を行っています。子どもたちは野菜を育てたり収穫したりする中で親しみを感じたり、日頃口にしようとしていない物でもおいしそうと感じたりすることがあります。今年度に入ってからタマネギ、ソラマメ、イチゴを味わいました。

この6月にはサツマイモの苗植えを予定しています。一見葉っぱのように見える苗が、ぐんぐん伸びて地中に芋を実らせる様子は子どもたちにとっても不思議なようで、例年大きな楽しみの一つになっています。

食べ物への興味や関心をもち、食の大切さに気付き、子ども自らが「食べてみよう」と思う気持ちが育つような場の設定をこれからも工夫していきたいと思っています。

《今月のねらい》

- 【年少】 ○先生や友達と一緒に水遊びを楽しむ。
- お弁当の準備や片付け、着替えなど自分でできることをしようとする。
- 【年中】 ○友達と触れ合い、一緒に遊ぶことを楽しむ。
- 水や泥の感触を楽しんだり、梅雨時の自然に触れたりする。
- 【年長】 ○思ったことや感じたことを出し合いながら、友達と遊びを進めていく楽しさを感じる。
- 初夏の季節の変化に気付き、自然に触れたり遊びに取り入れたりする。



♪荒川自然公園 親子遠足ありがとうございました♪

親子遠足を楽しみにしていた子どもたち。晴天に恵まれ、子どもたちは元気いっぱいでしたね。公園でお家の人と一緒に体操したり、ふれあい遊びをしたりして楽しみました。おんぶしてもらったり、ぎゅっと抱きしめてもらっているときの嬉しそうな表情を見ていて幸せな気持ちになりました。

オリエンテーリングでは、公園内をグループで楽しく散策♪

幼稚園で作成したオリエンテーリングカードのお題を探して歩き、見つかると喜んでいました。

そして、池の白鳥や鯉を見て驚いたり、バラやツツジの花を見たり、アスレチックに挑戦したりなど、いろいろな体験をしましたね。幼稚園ならではの親子遠足。親子で春の自然を感じながら、「楽しい」をいっぱい感じる事ができる時間は貴重な時間だと感じました。ありがとうございました。



町屋幼稚園のホームページで、園生活の様子をお伝えしています。

(ツイッターも始めました！ホームページにも載せてあります)
ぜひご覧ください♪

町屋幼稚園HP QRコード→

